

# コミュニティ壬生野 第27号



壬生野地域まちづくり協議会広報

2007(平成19)年7月1日発行

## 伊賀市地域活動支援補助金審査会通過！

去る6月24日、「平成19年度地域活動支援事業補助金」公開審査会が阿山支所2階で行われ、山本会長、森川事務局長が出席しました。8人の審査委員と大勢の聴衆の前で、今19年度のメインテーマである「地域防災対策事業」について、制限時間5分のプレゼンテーションを行いました。

審査の結果、申請23協議会の中、12位456点(基準点400点、未達の場合は不採択)で無事審査会を通過いたしました。

これからは、いよいよ実行の段階です。地域防災特別実行委員会を立ち上げ、事業を展開して参ります。この地域防災事業は、区長さんを中心に直接住民ぐるみの事業となりますので、働き盛りのみなさんは言うに及ばず、年配のみなさんも お子さまも 全員が積極的にご協力を下さいますようお願いいたします。

====備えあれば 憂いなし====

## ノハナショウブの観察会を行いました



6月17日(日)壬生野小学校児童ら18名とその保護者、先生7名参加のもと、ノハナショウブの観察会を開催しました。

当日は、梅雨に入ったとはいえ、お天気にも恵まれ、さわやかな一日となりました。

現地へ到着すると、参加していただいた子どもたちと保護者らが3班に分かれ、昔ながらの姿で自生して

いるハナショウブが緑のバックに映え、あたり一面に咲きほこっているすばらしいこの群生地で、自生しているノハナショウブの株を数えたり、写生するなどの観察会となりました。

それぞれの子どもたちが保護者と一緒に、いろんな方向から気に入った場所で楽しそうに、一生懸命に描いている姿が印象的でした。

その後、もうひとつの楽しみである昼食会となり、おにぎりや豚汁が振舞われ、山岸会からいただいたトマトをほおぼりながら、楽しいひと時を過ごすことができました。

一日を振り返り、子どもからは「暑かったけど、楽しかった」、「上手にショウブの絵が書けた」との声も聞くことができました。

これからも県天然記念物の指定を受けたこのノハナショウブを子どもたちに残す為、環境保護の取り組みが不可欠です。



# 2007（平成19）年度まちづくり専門員会の紹介 （順不同 敬称略）

- 人権・同和委員会** 委員長：渡部税子 副委員長：米野滋基 書記：山本真司  
委員：森田克彦 山下豊 澤村保廣 増森和吉 居附睦美 塚脇千恵 中森晴彦  
矢内茂
- 健康・福祉委員会** 委員長：館忠蔵 副委員長：藪田勇 書記：松馬小百合  
委員：山岡清徳 澤村憲一 居附健至 藤堂敏朗 西尾智博 家喜智 前畑征彦  
井澤豊美 矢野実 福森晋 吉葉公志 川端明子
- 生活・環境委員会** 委員長：山下謙一郎 副委員長：亀井亮治 書記：北村節子  
委員：山中亮 山崎美智子 谷口和行 居附正勝 山本清 河野實  
芳見彰 藤本二三雄 中井亘 永岩一男 細野仁  
山舗政夫 岡野喜子
- 教育・文化委員会** 委員長：中林正彦 副委員長：藤森光儀 書記：奥井陽子  
委員：増田裕允 塚脇博文 草山靖雄 和田弥生 今中良成 澤健治 本川典男  
浅香俊克 中越太 岸幸雄 奥井正昭 宮田清孝 福田律子 西良三
- 産業・交流委員会** 委員長：福西清重 副委員長：西尾周一 書記：福森功  
委員：山中吉浩 岡森敬美 北村浩 三根幸治 丸山正春 居附秀樹 大畑昭雄  
奥野耕三 今宮信久 東キミ子 出口保代 岡野充樹 西口規博



## 人権啓発情報

人権同和委員会より、7月から9月にかけて開催される人権講演会などの情報をお伝えします。

月 日	内 容	申込・参加費
7月6日（金）19：30 いがまち人権センター	解放講座（いがまち人権センター主催） 「児童虐待の現状と地域子育て支援」上山幸雄さん	不要 無料
7月10日（火）19：30 阿山保健福祉センター	人権・同和问题学習講座（教育委員会阿山分室主催） 「人の世に熱と光を！」清原隆宣さん	不要 無料
7月21日（土）13：30 三重県人権センター	県民人権講座（県人権センター主催） 「ありのままにこのまちで暮らしたい」塚本正治さん	必要 無料
7月28日（土）13：30 三重県人権センター	県民人権講座（県人権センター主催） 「ノーボーダー ～性同一性障害の新しいカタチ～」 杉山文野さん	必要 無料
8月5日（日）13：30 三重県人権センター	県民人権講座（県人権センター主催） 「差別意識 -その謎解きの旅-」大寺和男さん	必要 無料
8月17日（金）夜間（未定） ふるさと会館いが	いがまち人権・同和问题研究会（全大会） 演題未定 江嶋修作さん	不要 無料
8月18日（土）午前（未定） 西柘植公民館、霊峰中学校	いがまち人権・同和问题研究会（分科会、分散会） 詳細未定	必要 無料
9月11日（火）19：30 阿山保健福祉センター	人権・同和问题学習講座（教育委員会阿山分室主催） 「きっと笑って会える日を」井上泰子さん	不要 無料
9月14日（金）19：30 いがまち人権センター	解放講座（いがまち人権センター主催） 「聴くということ 子どもの権利、子ども感」 田部眞樹子さん	不要 無料

申込みが必要な研修会には、事前に主催者にお問い合わせ下さい。

# 水と生き物の環境を考えよう



壬生野小学校発



## 4年生総合学習 親子の集いから

6月15日（金）、壬生野小学校『4年生親子の集い』で、川東地区の小さな川でホタルの観察会をしました。田んぼに沿った川にゲンジボタル、ヘイケボタルが小さな光をはなつて、とびかい、子どもたちは大喜び。

澤村保廣さんから、オス・メスの見分け方などのお話を聴かせていただきました。子どもたちは、壬生野地区のいろいろなところでたくさんホタルを見つけてきました。

壬生野には、まだまだ自然がいっぱい残っていますね。



カワニナ



(ホタルとホタルのえさのカワニナを水槽で飼っているよ。)

## ほたる豆知識

### ほたるの種類

世界中にホタルの仲間は約2000種いるといわれています。日本でもゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル、そのほか、何種類かのホタルがいます。そのうちゲンジボタルとヘイケボタル、クメジマボタルのように幼虫期（ようちゅうき）を水中で生活するホタルはめずらしいのです。それらは陸で生まれ、水、陸、空へと変態をしながら活動しています。

### ほたるが減ってしまったわけ

ホタルの幼虫は、水のきれいな環境（かんきょう）でしか生きられません。私たち人間は、ありのままの自然へと入りこみ、川の水をよごしたり、ゴミなどを残したりして、知らず知らずのうちにホタルのすみかをあらしめています。川の水のよごれぐあいで水中の生物やホタルが「すめる」か「すめない」環境になるのです。ホタルが生きられる川は、きれいな水であることが必要条件なのです。

# 一夏の子ども楽園村ー “子どもは自分でカラを破る”

ヤマギシの村を舞台に1975年から始まった子ども楽園村。農業を基盤にした暮らしの中で、たくさんの子どもたちが育っていきました。春日山実顕地にも毎年、関西・中部を中心に全国から数十人の子どもたちが集って来ます。

自然に包まれ、生き物に触れ、ホンモノを感じ、仲間と育ち合う……。

一度しかない子ども時代に安心して思い切り遊び、学び、暮らせる環境を用意したい、そんな願いから今年も村を上げて準備を進めています。子どもらしく生きていける時間や空間を用意すると、子どもたちは「もっとやれる自分」に気づき、自らの力で「新しい自分」へと一歩踏み出して行くのです。

誰でも参加できます。もちろん壬生野の子どもたちも、親戚の子やお友達も大歓迎！

日程・・・8月5日（日）～8月12日（日）  
 対象・・・年中児・年長児・小学生  
 参加費・・・27,300円  
 問合せ・申込み・・・TEL 45-5550



年中児・年長児のみ対象の「ようねん合宿」も7月14日（土）～7月16日（月・祝）で開催します。お気軽にお問合せ下さい。

**【村のことでのお問い合わせは TEL45-5550（村人窓口）へお気軽にどうぞ】**

## ときめきサロン

土曜日の午前中は、まちづくり協議会の事務所（壬生の里 2階）へお出かけ下さい。図書の貸し出しをします。お茶やコーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりなどもしませんか是非子どもさんも一緒に“くつろぎの場”としてご活用下さい。

7月のお世話をさせて頂く担当者は、下記の通りです。



7月7日（土）	8:30～12:00	中林正彦、北出佳子、上林健作
7月14日（土）	8:30～12:00	草山靖雄、五百田佳子、田中智代
7月21日（土）	8:30～12:00	館忠藏、松村幸世、福岡光善
7月28日（土）	8:30～12:00	岸幸雄、福森和子、三根久美子

### 編集後記

2007（平成19）年度のまちづくり事業を担当する各専門委員会のメンバーを掲載させて頂きました。事業の実施にあたりましては皆様方のご支援とご協力を宜しく御願います。

教育・文化委員会ではノハナショウブ観察会を行い、壬生野小学校4年生の児童によって川東地区でホタルの生態を調べ、保護していくためのホタル狩りなどが行われました。

壬生野地域の自然をよく知り、大切に保護して行きたいものです。



◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会  
 事務局 三重県伊賀市川東1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内  
 Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL http://www.mibuno.net